

日本福祉大学「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」の設立

<設立の趣旨>

これまで、愛知県内の社会福祉法人と日本福祉大学は社会福祉実習教育などを通して、愛知県の福祉の発展のために福祉人財の養成に取り組んできました。「福祉は人なり」と言われてきましたが、まさによい「人財」の育成が不可欠です。

しかし、最近の社会福祉制度の改革の進展や国民の多様な福祉ニーズと期待が高まっている反面、人々の福祉離れが進行しており、福祉現場においては人財確保の面で厳しい状況が続き、福祉系養成校でも受験生の減少という事態に直面しています。福祉の仕事の魅力や正しい現状を伝えていくことが必要であり、今後の社会のニーズに応えていける基盤づくりが求められています。

一方で、社会福祉現場の変化に対応した人財養成の在り方（教育内容、実習教育、キャリア指導など）、現場でのリカレント教育や研修、生涯にわたるキャリア形成など、福祉現場と大学がより連携して取り組まなければならない共通の課題が山積しています。

そこで趣旨に賛同する愛知県内の社会福祉法人と日本福祉大学の連携によって、社会福祉教育及び研究の相互交流を推進し、福祉人財の養成と福祉実践の質の向上に取り組み、社会福祉の発展に寄与していけるようなネットワークをつくっていきたいと考え、「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」を設立します。

2014年10月15日

福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知 幹事会